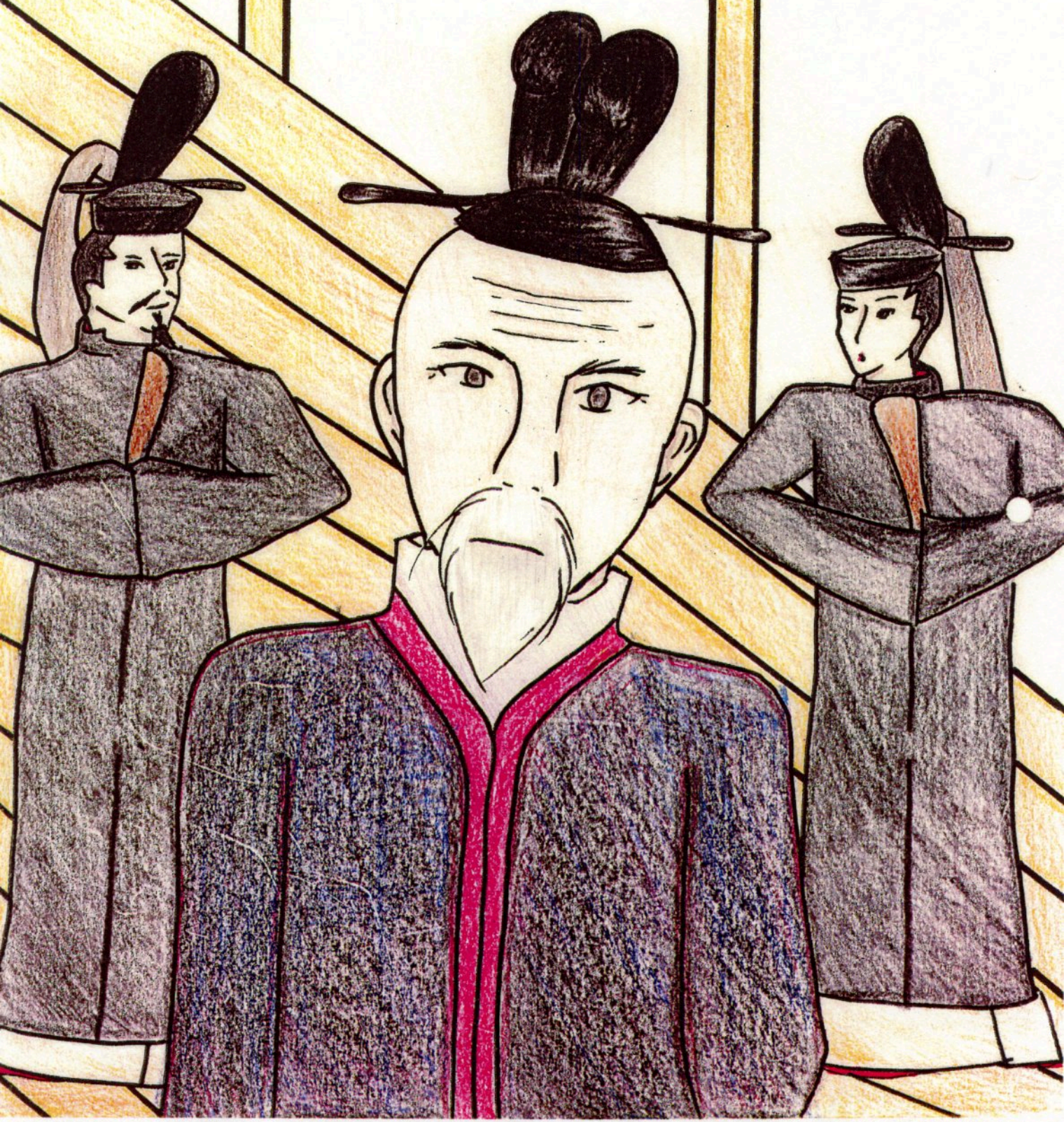


三浦大介義明



目次

1. 三浦氏の始まり

三浦氏は村岡為通が名乗った事から始まります。

2. 源頼朝の拳兵

源頼朝の拳兵に依じ子供達をはけんするも失敗します。

3. 衣笠合戦

和田氏と三浦氏の戦いです。

4. 三浦大介義明の討ち死に

三浦大介義明は頼朝に力を加勢すべく一族を安房へ逃がし、一人城で討ち死にをしました。

5. あとがき

三浦半島の地図



年

出来事

1063 村岡為通が源頼義から三浦郡を拝領衣笠城を築く。

この時初めて「三浦を名乗る

1159 平治の乱 義澄が源義朝に従い参戦

1180 8月17日 源頼朝、伊豆で挙兵

8月23日 源頼朝、石橋山の戦いに敗れ安房(千葉)に敗走

8月24日 小坪合戦

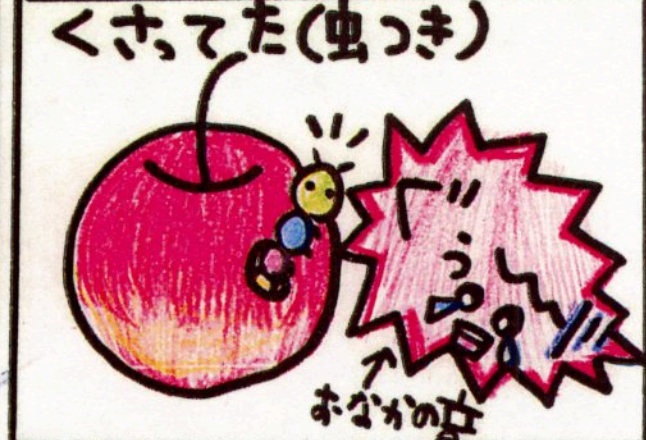
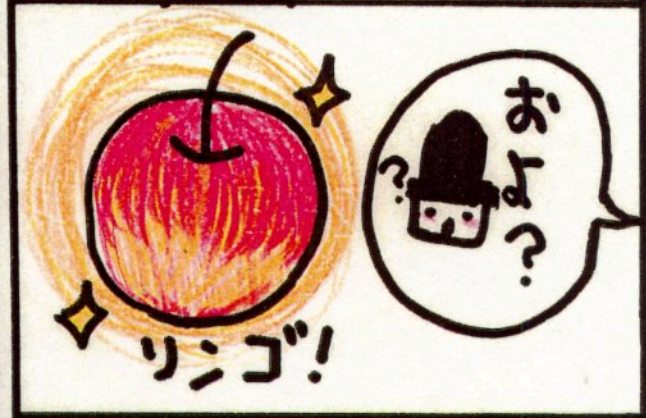
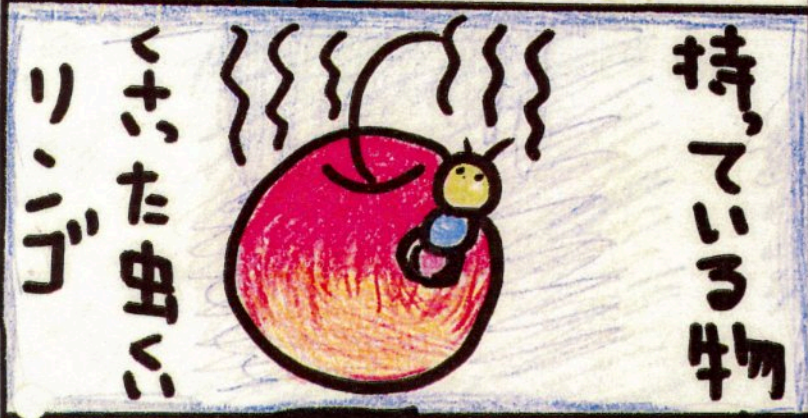
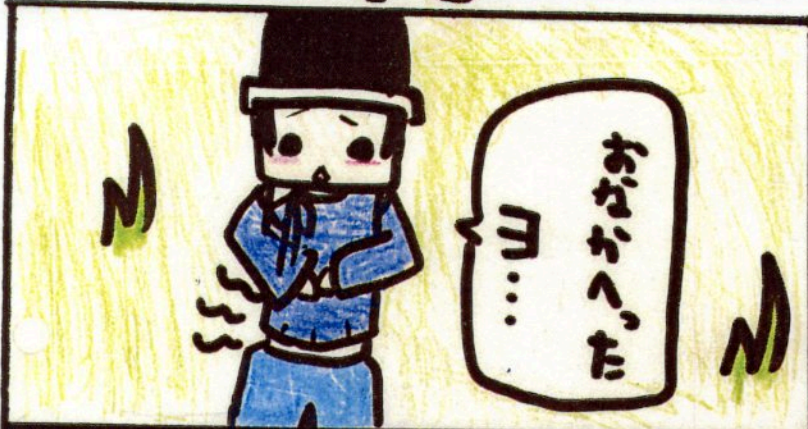
8月26日 衣笠合戦

8月27日 衣笠城、落城
三浦義明討死
一族は安房(千葉)に脱出

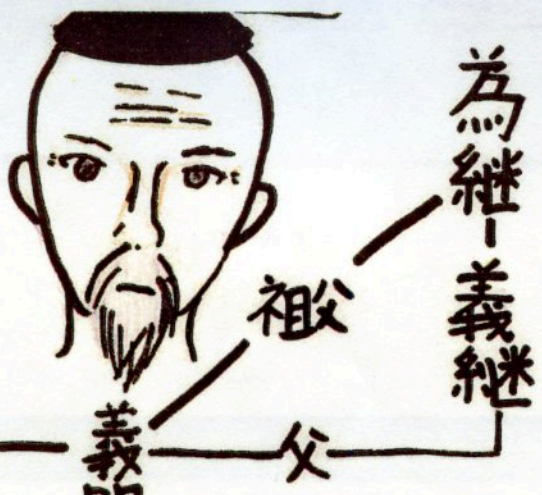
☆ポチアチ☆ まんが 劇場

「ハラハッマ」の巻 ②

「ハラハッマ」の巻 ①



家系図



為繼義繼

祖父

父

義明

源頼朝

- 弟一義行(津久井)
- 弟一義清(芦名)
- 弟一義実(平塚)

十男 義連(佐原)

六男 重行(葉山町林戸)

五男 義季(長井)

四男 義春(鴨居の多々良)

三男 義久(大田和)

次男 義澄(大矢部) 孫 義村

長男 義宗(鎌倉市杉本) 和田義成

為通
三浦氏の始祖

泰村

1. 三浦氏の始まり

1. 三浦氏の始まり

三浦氏四代、三浦大介義明は

一〇九二年に三浦義継の子として衣笠で生まれました。



三浦氏が始まったのは

村岡為通が前九年の役と

言う戦いでがんばったためほうびとして三浦半島の土地をもらって村岡為通が自分を三浦という名字を名乗った事から始まり

りました。その時に衣笠城が築かれました。

為継を源義家に従い後三年の役で活躍し、

さらに為継の子義継は息子の義明とともに一一九

五年に義朝を助けるなど活躍しました。三浦氏

は衣笠城を拠点にして、一族を三浦島の

各地において守りを

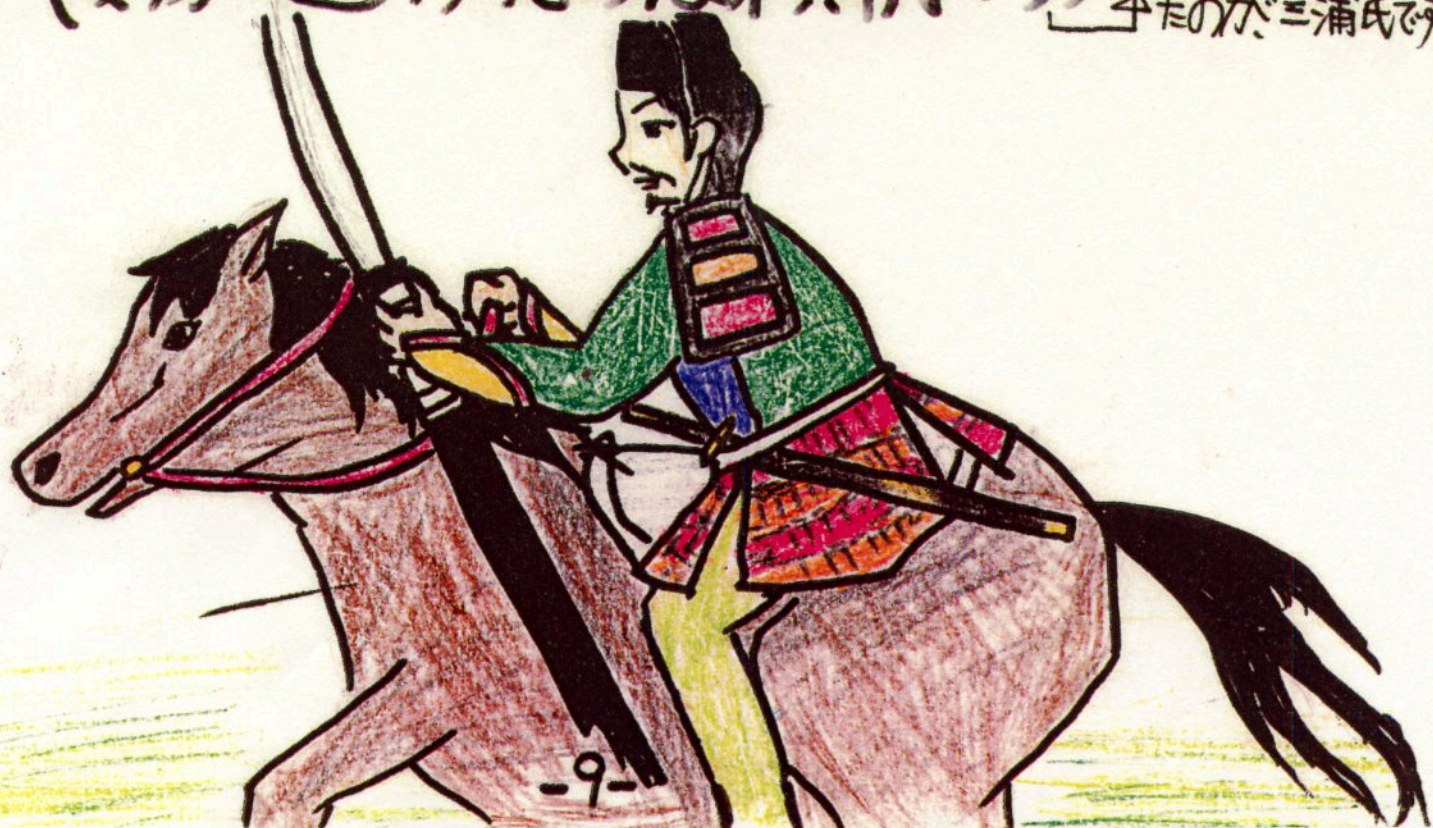
固めました。



2. 源 頼朝の拳兵

三浦氏は一一八〇年源頼朝の拳兵
にたいして石橋山の合戦にかけましが
源氏は最初の戦いで負けていたので
間に合わないと思いい笠城に引き
返しました。そして安房に逃げました。
頼朝はごんねんですが最初の「石橋山
の合戦」に負けてしまいました。
(安房に逃げたのは東頼朝です)

衣笠城に引き返したのが三浦氏です

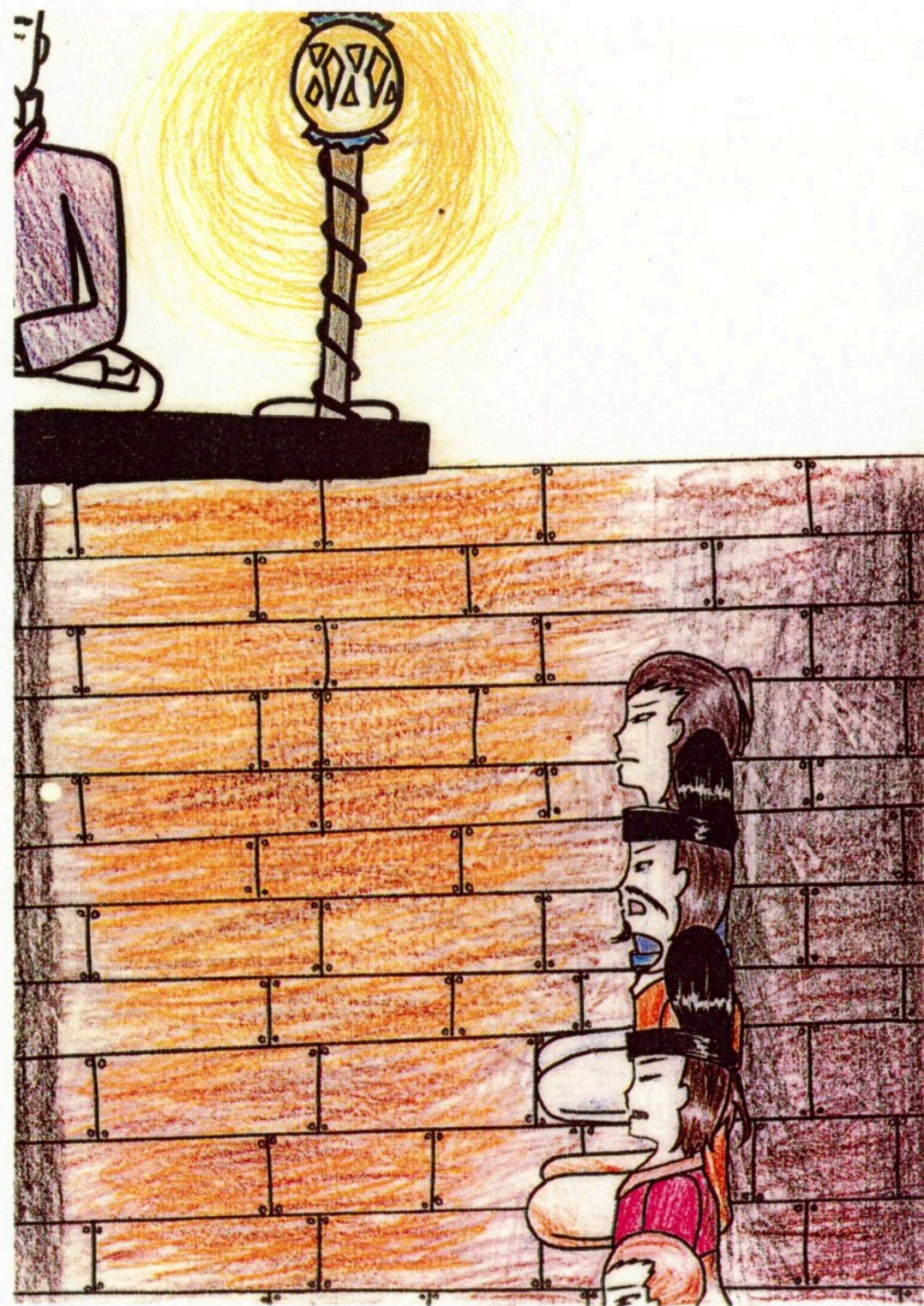
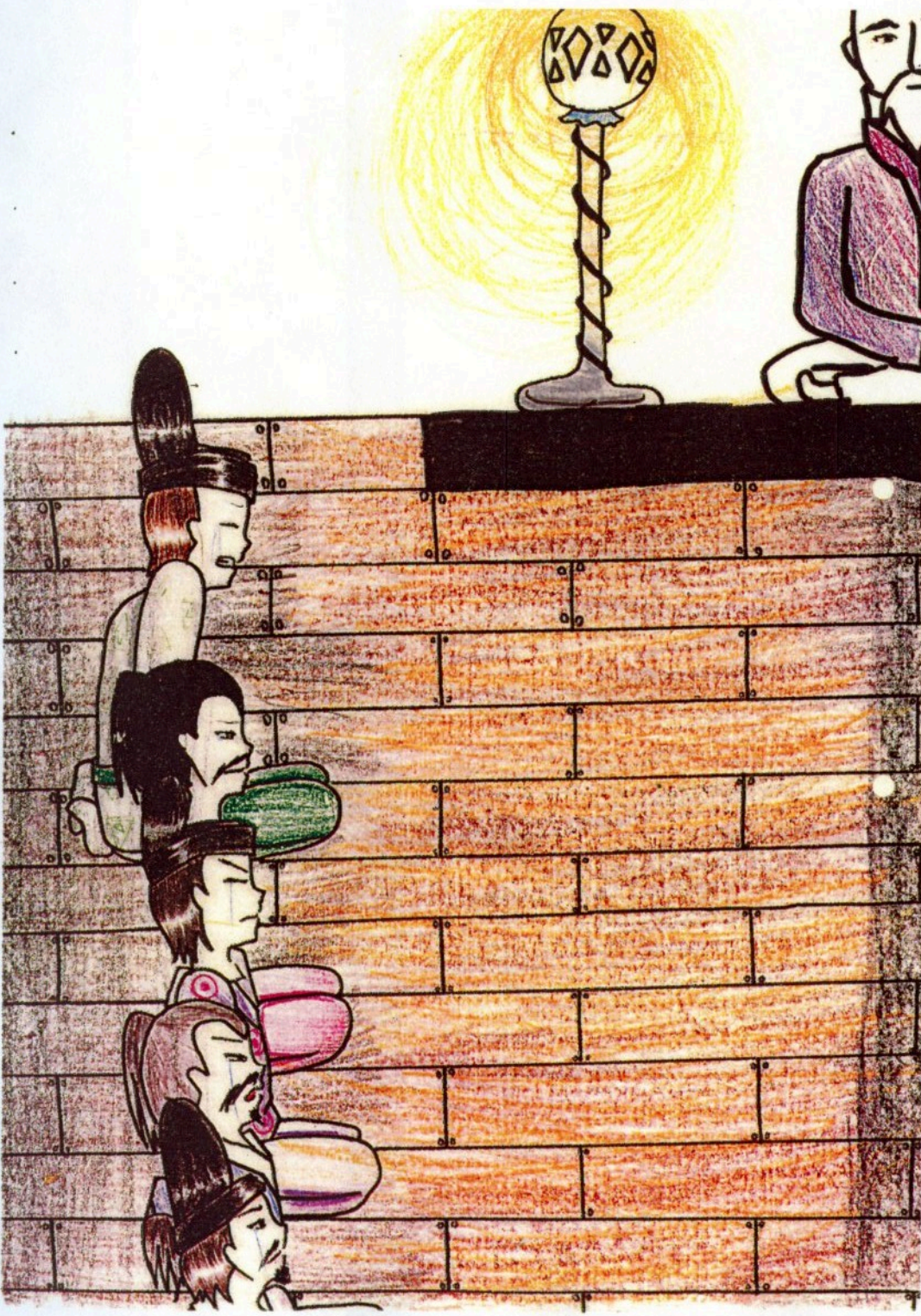


3. 衣笠合戦

八月二十六日、「衣笠合戦」のとき、平氏の畠山・江戸・河越の軍約三千騎にせめられました。四五三騎で三浦氏側は守り、戦いはが苦しい戦いになりました。



義明はこの夜にこの戦いに勝つ事はないと思つて、三浦一族を集めて次のように言いました。



「今日の戦いは終わった。自分は老
いているので歩くこともできぬ。それ
ほど命は長くない。だから自分が
一人城に残ろう。親からうけつい
だ衣笠城で死ぬのであれば
本望だ。」

これを聞いた義澄たち一族の
人々ははらはらと涙を流したが
義明の命令にはがって、その日の夜
中に久里浜の女又田城ににげて、
次の日の二十七日、そこから船で安房
へのがれました。

4. 三浦大介義明の討ち死に
衣笠城に最後まで残った義明は、
一族全員が無事で出港したことを
聞き、二十七日の朝、食館に火を放ち、
そう、絶大な死をとげました。

その後、頼朝のいっこうは、
安房・上総で20万の大軍を
味方にして、武蔵を通過して頼義以来
源氏のゆかりの地鎌倉にはいり、
まず、富士川の戦いで平氏をおい
はらい、屋島や壇ノ浦の戦いで滅
ぼし、ついに建久3年(1192年)鎌倉に幕府を

ひらきました。

5. あとがき

この本を読んで三浦大介義明さんのことがよくわかりましたか?よく知ってもらえたならうれしいです。

私たちはみんなに衣笠合戦の所をたくさん読んでほしいです!! 苦しい戦いの時に義明が決めた決断のシーンにとくに注目してもらいたいです。

絵と文章を実際に思いつかべながら読んでもおもしろいです!!
この本を言売んでくれてありがとうございました。

また何度も本を読んで、歴史の事を考えてみて
ください。

資料

スカップ4中世・近世系編
よこすか歴史散歩

横須賀ゆかりの
歴史上の人物

三浦一族の歴史

おおやべ 創立

30周年 記念 副読本

(横須賀市立大矢部
小中学校)

